

平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

印刷図書館は、「印刷及びその関連分野の図書資料を収集し、専門図書館としての設備充実を図り、保存並びに広く一般公開することによって、印刷技術及び印刷文化の発展向上に寄与すること」を目的に運営をしています。

戦後まもなくに開館した印刷図書館も、平成29年には財団設立70周年という大きな節目を迎えました。デジタルメディアが広がる昨今、図書館を取り巻く環境も大きく変化して来ていますが、これからも印刷の唯一の専門図書館として、後世に残すべき貴重な印刷文化資料の保存に努めてく所存です。

平成30年度の事業運営にあたりましては、一般財団法人としての公益役割を踏まえつつ、専門図書館としての一般公開及びサービス、利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供とともに、平成30年度「事業計画」に基づき、各事業の積極的な推進に努めました。

本年度の各事業の実施状況を報告するに当たり、下記のとおり、印刷図書館の事業体系に沿ってご報告いたします。

印刷図書館の事業体系

- 【公益目的事業】**
1. 図書館運営事業
 - (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス
 - (2) 図書、資料の収集・整理
 - (3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
 - (4) 関連機関との相互協力
 2. 広報活動事業
 - (1) 受入れ資料のデータベース化
 - (2) インターネットへの蔵書データの更新
 - (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介
 - (4) ホームページを通しての財団活動報告等
- 【その他事業】** 所蔵する印刷文化財の貸出等
- 【運営管理業務】** 理事会及び定時評議員会の開催

事業報告

【公益目的事業】

1. 図書館運営事業

(1) 専門図書館としての一般公開及びサービス

① 利用状況

当図書館の利用にあたっては、会費を納めている法人(維持会員)は無料、それ以外は、一般利用600円、学生200円としている。

利用者の多くが印刷業界並びに関連業界であるが、一般利用者の特徴として、シンクタンクやコンサルティングサービス会社による印刷業界の動向及びデータ収集の利用が多い。

平成30年度における利用者総数は前年度42.7%増の341名だった。内訳は次のとおりである。

(単位:名)

| 維持会員 | 一般 | 学生 | 合計 |
|------|-----|----|-----|
| 230 | 104 | 7 | 341 |

② 閲覧分野

一番多く閲覧された分野は、例年同様、印刷業界の分析資料で、全体の約46%を占める。それ以外の閲覧については幅広く閲覧され、中でも、明治時代の書体見本等の貴重資料については、実物を直に触れることができるため、書体研究者等に好評である。

平成30年度における閲覧分野のたまかな内訳は次のとおりである。

(単位:件/複数回答)

| 市場分析 動向・統計 | 技術・経営 料金・管理 | 社史・組合史 歴史・人物伝 | 学会要旨 国内外論文 | 明治・大正 昭和初期史料 | 他 (叙勲等) |
|---------------|----------------|------------------|---------------|-----------------|------------|
| 161 | 90 | 25 | 14 | 45 | 18 |

③ 貸出業務及びコピーサービス

ア 貸出業務

貸出については、維持会員のみ可能で、2週間で5冊としている。ただし、貴重資料並びに、最新データについては、館外貸出を行っていない。今年度における貸出状況は次のとおりである。

(単位：点)

| 市場分析 動向・統計 | 技術・経営 料金・管理 | 社史・組合史 歴史・人物伝 | 学会要旨 国内外論文 | 明治・大正 昭和初期史料 | 雑誌 他 |
|---------------|----------------|------------------|---------------|-----------------|---------|
| 10 | 27 | 8 | 10 | 1 | 31 |

イ コピーサービス

コピー総数は利用者の増加に伴い、同じく約45%増の2,081枚だった。そのうち約半数は、市場分析及び統計資料のコピーで全体の5割を占める。今年度におけるコピーの利用状況及びパソコン利用は次のとおりである。

(単位：コピー／枚、PC／名)

| 白黒コピー枚数 (@50円) | カラーコピー枚数 (@100円) | 私物PCへの入力 (@400円) |
|----------------|------------------|------------------|
| 1,833枚 | 248枚 | 9名 |

(2) 図書、資料の収集・整理

図書、資料の収集にあたっては、印刷関連の発行状況を常に把握し、積極的に関連団体や企業に問い合わせ、充実を図ったほか、バックナンバーの欠号補充にも努めた。

今年度における受入資料の総数は994点、区分の内訳は次のとおりである。

《平成 30 年度 受入資料の区分》

(単位：点)

| 区分 | 点数 | 資料紹介 |
|------------------------|-----|---------------------------------------|
| プリプレス | 6 | 天然色寫眞術 |
| 印刷技術 | 10 | フォーム印刷業界の現状と課題 |
| 後加工 | 1 | 日本のラベル市場 |
| 印刷資材／印刷機械 | 4 | 機能紙研究会誌 |
| 技術一般／料金／出版／法令 環境／経営 | 18 | カラー図解 印刷技術入門 印刷産業のための個人情報保護の手引き |
| 名簿／業界イベント／図録 | 36 | カレンダー年鑑、各種名簿 |
| 市場分析、動向、統計 | 34 | 出版月報、矢野経済研究所の分析資料 印刷白書、産連データ、オフ輪年報 |
| 調査研究報告書 | 1 | IoT を活用した印刷産業機械の次世代技術に関する 調査研究報告書 |
| 研究論文、セミナー要旨 | 18 | 学会主催の各種セミナー要旨 |
| 学会誌 | 21 | 印刷、画像、写真、メディア学会誌等 |
| 印刷会社社史 | 1 | 富士印刷創立五十周年記念誌「富士晴るる」 |
| 組合史・団体史 | 3 | 愛知県製本工業組合 100 周年記念史 |
| その他印刷関連史 | 3 | 木口木版のメディア史 |
| 国内雑誌類 | 229 | 21 誌 (月刊、隔月、季刊発行) |
| 外国雑誌類 | 16 | 月刊印刷코리아 (韓国) |
| 業界新聞 | 319 | 10 紙 (週刊、月 2、月 3 発行) |
| 会報、機関誌等 | 272 | 61 誌 (月刊、季刊、年刊発行) |
| その他 | 2 | 伊東亮次関連資料 |
| 合 計 | 994 | |

(3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供

印刷図書館のような専門図書館の利用者は、探す資料内容もかなり細くなるため、そのニーズに対応できるよう、資料は特集記事ならびに注目記事をデータベース化し、より詳細な資料情報の提供に努めた。

また、当館で該当資料が見つからなかった場合は、他の機関にも問い合わせをし、所蔵の有無を確認し対応した。

(4) 関連機関との相互協力

「IGAS2018」の日本印刷産業連合会のブースにて、印刷図書館のリーフレット約120部を配布するなど、業界団体や公的機関との連携・協力を積極的に取り組んだ。

2. 広報活動事業

当館の広報活動は、主にホームページを通して実施しており、蔵書データの更新、新刊情報の紹介、財団活動等をその都度発信し、広報活動に努めた。なお、前年度と比較するとアクセス総数は16.2%増加している。

平成30年度のホームページのアクセス件数は次のとおりである。

・アクセス件数 (期間：平成30年4月～平成31年3月)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 閲覧数 | 1002 | 896 | 1354 | 1069 | 1136 | 720 | 1008 | 1099 | 917 | 748 | 685 | 767 |

・アクセスユーザーの比率 (期間：平成30年4月～平成31年3月)

| 新規ユーザー | リピーター |
|--------|-------|
| 90.6% | 9.4% |

(1) 受入れ資料のデータベース化

今年度の受入れ資料994点すべてを、蔵書管理システムへデータベース化した。また、これ以外にも過去にデータ化されていなかった資料、約680点をデータベースに登録した。入力事項は、基本の書誌データ(タイトル、発行元、発行年、体裁)以外に、特集記事も入力し蔵書管理に努めた。

(2) インターネットへの蔵書データの更新作業

入力したデータは、速やかにインターネットへデータ転送し、ホームページの[蔵書検索]機能の充実と、情報公開に努めた。

(3) ホームページを通しての新刊情報の紹介

受入れ資料のうち、定期刊行物以外の図書、報告書類については、ホームページの[新刊情報]に、表紙画像とともに主要目次を掲載し紹介した。今年度の掲載件数は昨年度の約2倍の38件だった。

(4) ホームページを通しての財団活動報告、その他

理事会及び定時評議員会に関する報告、誠伸商事株式会社による図書寄贈式を行ったことを掲載した。

《その他事業》

(1) 所蔵する印刷文化財の貸出

共同印刷株式会社の社内報「TOMOWEL MAGAZINE」(2018年7・8月号)に組まれた印刷図書館の特集記事において、当館が所蔵している資料の紹介用に東京築地活版製造所『活版見本』(1903年)、ポスター『赤玉ポートワイン』(1922年)のデジタル画像を提供した。

(2) 『印刷図書館コレクション』の利活用

70周年記念事業にて刊行した『印刷図書館コレクション』を新たに66の全国の文化・芸術および関連の情報・研究機関に広く配布・頒布した。今回は主に、未来を担う若い世代を対象に、芸術学部を保有する大学図書館などを中心に謹呈し、印刷文化及び印刷産業の理解促進、情報の発信に努めた。

また、中央大学図書館、東京都立中央図書館からは「利用者の調査・研究のために、寄贈願います」との依頼を受け、速やかに謹呈した。

(3) 「印刷関連専門図書館交流会」の実施

2019年2月に、印刷図書館と印刷博物館とで、第一回「印刷専門図書館交流会」を開催した。開催の趣旨は、交流会を通じてそれぞれの立場や活動内容の相互理解を深め、印刷技術・文化に関する知識の収集と保存、公開活動に役立てていくことにある。今後も定期的に行き、協力体制を築くことで印刷図書館の業務活性化に努めることとした。

《運営管理業務》

理事会・定時評議員会の開催

平成30年度における開催状況は、次のとおりである。

(1) 平成30年度 定時評議員会

- ・開催日時 平成30年6月13日 午後2時15分～2時半
- ・開催場所 ホテルニューオータニ 翔の間
- ・出席者 評議員24名中17名
理事16名中15名、監事2名中2名
- ・決議事項
 - ・平成29年度計算書類承認の件
 - ・理事16名選任の件
 - ・監事2名選任の件
 - ・評議員25名選任の件
- ・報告事項 平成29年度事業報告の件
公益目的支出計画の実施完了の件

(2) 平成30年度第1回 理事会（書面決議による理事会）

- ・理事会の決議があったとみなされた日／平成30年5月11日
- ・理事会決議があったとみなされた事項の内容
 - ・平成29年度事業報告並びに決算の件
 - ・平成30年度定時評議員会の開催日の件

(3) 平成30年度第2回 理事会

- ・開催日時 平成30年6月13日 午後2時15分～2時半
- ・開催場所 ホテルニューオータニ 翔の間
- ・出席者 理事16名中16名、監事2名中2名
- ・決議事項 代表理事選任の件
常務理事選任の件

(4) 平成30年度第3回 理事会

- ・開催日時 平成31年3月20日 午後2時30分～2時45分
- ・開催場所 日本印刷会館 501会議室
- ・出席者 理事16名中15名、監事2名中2名
- ・決議事項 2019年度事業計画並びに予算の件

(付記) 事業報告に係る附属明細書について

事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以 上